



「かける」をテーマにした作品が並ぶ会場

気にかけたり、腰掛けたり

「かける」テーマ 笠岡で県立大展

絵や木製の椅子8点

「かける」という言葉から着想を得た作品が並ぶ、県立大（総社市）の学外展示会「かける展」が11日、笠岡諸島交流センター（笠岡市笠岡）で開幕した。13日まで。

デザイン学部生11人の8作品を展示。「気にかける」を主題に複雑な感情をピンク色やたばこの煙で表現した絵や、「音楽をかける」をテーマに黄や水色などポップに仕上げたオリジナル曲の歌詞カードなどが並ぶ。「腰掛ける」と「立てかける」を掛けた木製の椅子などもあり、入場者は展示物に座ったり触ったりしながら楽しんでいた。

同学部4年上田裕美さんは「専門領域の違う学生が協力してつくった作品も。絵以外は見えて触ってみて」と話している。午前9時から午後6時（13日は午後0時半まで）。入場無料。笠岡諸島交流センターの基本設計は、笠岡市と連携協定を結ぶ県立大の学生のアイデアを採用。センターは今年3月にオープンした。展示会は県内の産学官連携組織「おかもまCOC+推進協議会」事業の一環。（平田亜沙美）